

科学技術・リスクコミュニケーション支援

科学技術と社会の架け橋として

リスクコミュニケーションとは
リスクに関する情報を、人々に対して可能な限り開示し、たがいに共考することによって、問題解決に導く社会的技術です。

当社の特徴1

リサーチ力

～的確な状況把握～

社会調査・分析の経験、技術を基盤として、ステークホルダーの状況や内外環境を的確に把握します。

当社の特徴2

コミュニケーションコンサルティング力

～有効な戦略立案、実施～

PR・マーケティングコンサルティングの経験を活かし、有効なコミュニケーション戦略を立案、実施します。

当社の特徴3

専門性

～科学技術・リスクの知見～

お客様の事業領域と科学技術・リスクの専門家ネットワークを活用します。また、当該領域の知識を有するスタッフを配置します。これまで、以下のように多様な分野で実績を積んでいます。

[対応分野]

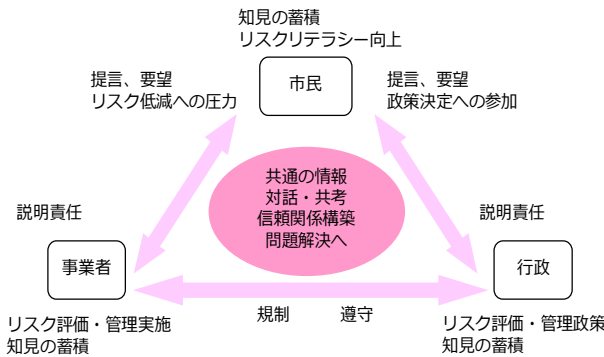
放射線・原子力

食品安全

環境

製品安全

医療・医薬品等



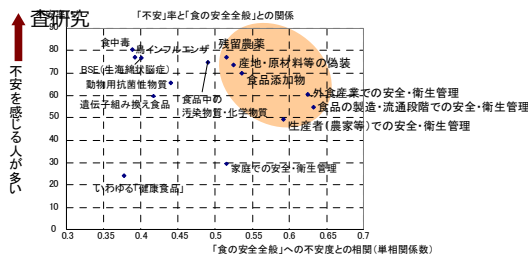
社会として科学技術のリスクに向き合い、安全・安心な社会を実現するためには、適切なリスク評価、リスク管理とともに、科学技術・リスクに関する情報をさまざまなステークホルダーが共有し、対話を通じた信頼関係のもとに問題解決の道筋を共に考えるリスクコミュニケーションが必要です。株式会社ノルド社会環境研究所はリスク評価、リスク管理、リスクコミュニケーションに取り組み皆様を支援します。

認知と行動に関する調査研究

コミュニケーションの相手を知る

人々のリスク認知と行動、リスク認知の形成要因等を調査・分析し、リスク認知の構造や行動に影響を及ぼす要因等を、社会心理学的手法を用いて明らかにします。

- 各種ハザード、リスクに関する意識と行動の調査研究
- リスク認知及び受容性、リスク形成要因等に関する調



「食の安全全般」への不安との関係が大きい
イメージ出典：内閣府食品安全委員会「食品の安全性に係るリスクコミュニケーションの効果に関する調査報告書」（当社実績）

リスク評価・管理に関する調査研究

リスク情報を充実、整理する

リスクの科学的評価、安全管理、安全規制等に係る動向、国内外（国、国際機関、地方公共団体、学術レベル）での検討状況、政策と運用実態など、リスク評価、リスク管理の動向や実態について調査分析します。また、貴組織の対応の方向性を示します。

- リスク評価、リスク管理（安全規制、リスクマネジメント等）の動向調査、運用実態調査

- 各種ハザード、リスクに関する論点と関連する知見、政策の状況の調査分析

- 規制の影響、効果、効率性の評価

- 疫学調査（観察、介入）、数理モデル、統計解析等によるリスク評価（解析）支援

科学技術・リスク情報の理解促進

科学技術・リスクをわかりやすく伝える

科学、リスクハザードの性質や安全管理等の状況などの技術的、制度的内容をわかりやすく伝えます。

- 専門的情報（専門用語等）をわかりやすく伝えるメッセージの検討、素材作成
- リスク情報を伝えるメッセージの作成、評価

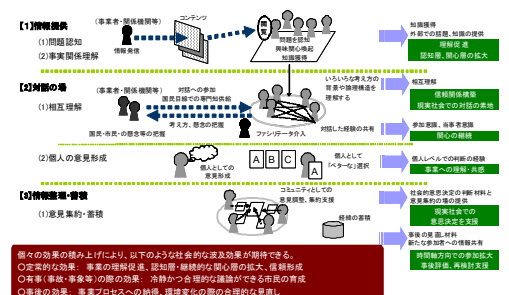
[裏面に事例を紹介しています]

コミュニケーション事例分析、評価

よりよいコミュニケーションをめざす

リスクコミュニケーション及び類似の取り組み（情報共有、理解促進、対話、責任と問題意識の共有、合意形成等）の手法、事例、動向等について調査、分析し、貴組織にとって有用な知見を抽出します。

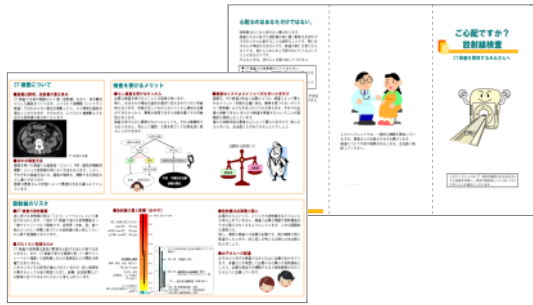
- リスクコミュニケーションの取組事例整理、分析クライシス事例におけるコミュニケーション整理、分析、評価
- コミュニケーション手法、技術調査



個々の効果の積み上げにより、以下のおよむ社会的効果及び効果が期待できる。
○ 政策的な効果：事業の理解促進、認知率・信頼的な関係の拡大、信頼形成
○ 事業（事故・事象等）の効果：活動かつ合理的な議論が促る市民の育成
○ 事例の効果：事業プロセスへの納得、環境変化の取の合理的な見直し

イメージ：リスクコミュニケーション手法の評価分析

サービス事例[科学技術・リスク情報の理解促進分野]



放射線検査 受検者向けパンフレット

説明ツール・ガイドラインの作成

専門用語やリスクをわかりやすく説明するツールを作成します。
また、貴組織に適したリスクメッセージ作成のガイドラインを作成します

- パンフレット、冊子、プレゼンテーション等、説明ツールの作成
- コミュニケーションの場面、相手に応じた説明資料を作成
- リスクメッセージ作成の実務で参照できるガイドラインを作成



食品の安全性 説明スライド



放射性廃棄物リスクコミュニケーション広場 <http://ho-hi.com>
Web での対話を通じた理解促進

リスクコミュニケーション支援 Web サイトの構築・運用

リスクコミュニケーションを支援する Web サイト
「ポータルサイトとして最新情報を提供」

- ニュース、イベント情報、Q&A サイトから情報を集約
- 独自の解説コンテンツ
- 「コミュニケーション・対話を通じた理解促進」
- ファシリテータ介入型電子会議室や Q&A による情報提供と対話で理解を促進
- メールマガジン配信

ニーズに合わせて自由度の高いサービス・コンテンツを提供します。

自然放射線

従来の説明
天然にある放射線。大地に含まれる放射性元素や宇宙線に起因する放射線で、核実験や原子力施設の事故等に起因するものは含まない。

言い換え
原子力、医療などの人間の活動と関係なく、自然界に存在する放射線。人間は、宇宙、空気、大地、食べ物などから放射線を受けている。

グループインタビューでの評価
平均理解度4.5(5段階)

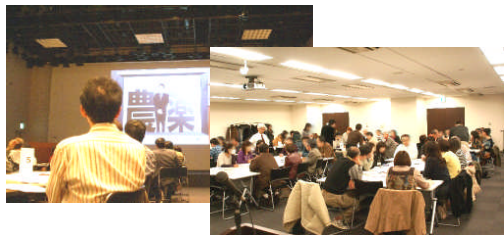
- 子供の園庭に寝ていそうな文章だ。(女性42歳、パート)
- 今まで知らなかったことが発見できて面白い。(女性16歳、高校生)
- もっと知りたい。「食べ物」って、どんな感じ?(女性38歳、派遣社員)

説明文に対する受け手の反応シート

専門用語をわかりやすく伝える「言い換え用語集」

説明資料がなくてもパッと説明できる言い換え文を作成
受け手の知識、関心にあわせて説明により、リスクコミュニケーターを支援します

- 正確さとわかりやすさのバランスを考慮した言い換え文の作成
- 用語、言い換え文の理解度の定量的評価
- レビュー調査により受け手の反応を観察し、理解の促進要因と阻害要因を把握

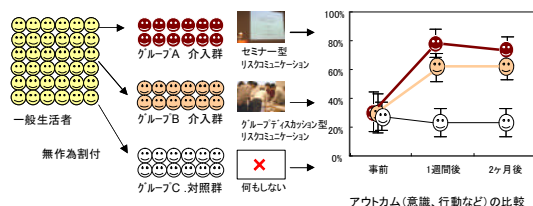


「基準値の2倍! どうしたらいいの?」農薬に関する意見交換会
講師: 関澤純 先生 研究委員会座長: 北野大先生

集合型リスクコミュニケーションの企画・開催・評価

セミナー・説明会、ワークショップ、シンポジウムなど、
集合型のリスクコミュニケーションを企画・開催・評価します

- 意識調査をふまえたテーマ選定・説明・ディスカッション内容検討
- 参加者募集から当日の運営までのロジスティックス
- 事後評価・改善点の提案
- 学識者による検討・評価



介入試験によるリスクコミュニケーション効果測定

リスクコミュニケーションの効果測定

リスクコミュニケーション活動の効果を客観的に評価します

- 参加者アンケートだけでなく、非参加者の比較(介入試験)による客観的な評価
- 追跡調査により、効果の持続性を把握

その他の主な実績

- リスク認知の形成要因等に関する調査
- リスクコミュニケーションの効果に関する調査
- 放射線被ばくに関する一般公衆の認知に関する調査研究
- 医療被ばくの正当化に関する調査研究
- 医薬品の副作用に関する意識調査
- 送電線電磁界に関する住民意識調査
- 原子力に関する意識調査
- 高レベル放射性廃棄物処分に関する論点の分析
- リスクメッセージの点検、評価、修正とガイドライン作成
- リスク及びリスクコミュニケーションに関する一般向け解説資料の作成

当該分野の主な取引先

- 資源エネルギー庁
- 内閣府本府
- 内閣府食品安全委員会
- 独立行政法人放射線医学総合研究所
- 日本原子力研究開発機構
- 独立行政法人科学技術振興機構
- 慶応義塾大学
- ほか、民間企業等

お問い合わせ



株式会社ノルド社会環境研究所(科学技術・リスクコミュニケーション担当)

<http://www.nord-ise.com>

東京都中央区京橋 1-9-10 tel: 03-5524-7333 fax: 03-5524-7332 Mail: master@nord-ise.com